

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達支援センターのぞみ 放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 6日		～ 2025年 1月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	49	(回答者数) 49
○従業者評価実施期間	2025年 1月 10日		～ 2025年 1月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 31日		

○分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	不登校の子どもや学校に適應しにくい子どもの個別対応ができる利用枠を設けていること	左記のようなお子さんは、どうしても活動経験が少なくなってしまうと思われます。少人数や個別、その子に合った環境や方法で体験的学習や他者との関わりの機会を提供するようにしています。	子どもたちの少し先を見据え、その子のペースでその子なりに成長していけるよう、知識や支援技術を学んていきたいと考えます。
2	活動プログラムの充実	個別のニーズが必要な子どもに対しては個別で対応しています。また、小グループで行う活動についても、グループの中でニーズに分けて、できるだけ多くの子どもにニーズに合わせられるように、SSTや、認知的な課題を個々の難易度に調整しながらプログラムを考えるようにしています。	事業所の職員みんなで意見を出し合い考えていくことや、他事業所と交流する中でいろいろな意見を取り入れていきたいと思ひます。
3	関係機関との連携	子どものQOLの向上という視点から、事業所内での活動の充実だけでなく、学校や家での生活の安定や充実も重要です。子どもや保護者から上がったニーズを整理し、子どもにとって必要な支援について学校等と連携をしています。	各関係機関と細やかな連携が取れる職員の資質の向上を目指します。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者の意見交換会や研修会など、保護者の集まりの機会を設けられていない。	現在は、保護者への対応を個々で行っています。平日、土曜日と放課後等デイサービスを運営する中で、保護者の集まりをどのように企画し運営していくかというものを模索している段階です。	個別対応も必要ですが、今後保護者の意見もききながら検討していきたいと思ひます。
2	地域交流が実施できていないこと	梅干しの作り方を地域の方に学ぶということの企画を考慮しておりましたが、この度は叶いませんでした。まだ行ったことがないので、どのように企画をすればよいのか、どのようなことに注意すればよいのかなど、職員に知識がないということも課題です。	地域の人との交流をすることは、子どもの豊かな体験的学習や地域づくり、地域支援などに寄与すると考えています。地域交流を行っている他の事業所等と連携し、今後実施できるよう検討していきたいと思ひます。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子どもの発達支援センターのぞみ 放課後等デイサービス

公表日 2025年2月12日

利用児童数 2025/1/10 54名

回収数 49件

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	47			2	・体を動かせるスペースと、遊具が揃っているのがありがたいです。	・今後子どもに合わせた難易度で身体を動かせる環境を提供できるような努力していきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	43	2		4	・先生方がお忙しいそうなので、もう少し増員されたら先生方のご負担も少し軽減できるのではないかと思います。	・ゆとりをもって対応できるよう工夫していきます。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	45			4		・子どもにとってわかりやすい環境づくりを心がけています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	47			2		・活動スペースを子どもの特性に合わせて仕切りするなど、臨機応変に環境を整えています。
適切な 支援 の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	49					・今後も職員一同研鑽を積んでまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	47			2		・支援プログラムにつきましては、ガイドラインに基づいた5領域を含み作成しており、これに基づき支援を行っています。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	49					・上記と同じく、ガイドラインに基づき、保護者や子どものニーズに合わせて個別支援計画を作成しております。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	48			1		・本人、きょうだいを含めたご家族の支援等、個別支援計画に位置付けて支援を行っています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	48	1				今後も計画に沿った支援を継続していきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	46	2		1		・子どもの特性に合わせた活動を適宜難易度調整をしながら、プログラムを組んで支援を行っています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	17	5	4	23	・あるかもしれませんが、うちはまだ参加したことがないように思います。 ・児童クラブに通っているので、必要性を感じない。なくていい。	・現在は行っておりませんが、今後皆様のお声を聞きながら検討してまいります。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	49					・契約時に、十分時間を取り、できるだけ丁寧にお伝えするよう心がけております。また、不明な点はいつでも対応しお答えするようにしております。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	48			1		・個別支援計画作成時には、保護者の方とお客様の現在の様子やモニタリングについてお話をさせていただき、支援計画内容のご説明をしております。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	42	1	1	5		・三原市で行われている家族の集いや、ペアレントトレーニングのほか、研修会などの情報提供をメールや、相談をお受けしたときにお知らせしています。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	47	2			・親の仕事の都合もあり、直接会って話すことが難しいときもあります。	・子どもの家庭や学校での様子聞き、またこちらからも利用時の様子をお伝えしております。気になることがあれば保護者に電話し学校連携につなげたり、相談に乗る面談の機会を設けるようにしております。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	47			2	・まだ定期的とは言えるほど通っていません。	・上記と同じ
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	49					・今後も本人やご家族の思いに寄り添った支援を行っていきたく思います。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	20	7	6	10	無回答 6 ・セミナーや親の会などのイベントの案内をメールでいただいています。 ・無くていいです。	・子どもの保護者会は現在開催できておりませんが、交流の場を今後検討していこうと考えております。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	43	1		1	無回答 4	・相談があるときは、気軽に申し出ていただき迅速に対応し、面談をするようにしています。こちらからお声がけすることもあります。必要に応じて関係機関連携を行うこともあります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	44	2			無回答 4 ・親が仕事の時は話ができないので、難しく思うことはあります。できなくても仕方ないと思っています。	・お迎え時に保護者と共有するようにしていますが、気になることがあればお話をいただいたり、こちらからお電話をして共有しております。面談の場を設けることもあります。今後も保護者と情報の共有を丁寧に行っていきたいと考えております。
	21	定期的な通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	39	2		5	無回答 4	・ガイドラインに基づき、毎年公表しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	42	1		2	無回答 4	・今後個人情報取り扱いには十分に配慮していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	37	2		6	無回答 4	・各種マニュアルは策定しております。保護者に詳細を周知はできていませんが、様々な災害を想定した避難訓練を実施しており、連絡帳などで実施したことをお伝えしております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	37	3		5	無回答 4	・今後も定期的に避難訓練を実施していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	43	1		1	無回答 4	・安全の確保するための計画に沿って、安全な活動環境を確保するよう努力いたします。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	42	1		2	無回答 4 ・今まで事故等が発生したことがないのでよくわかりません。	・ケガ等が発生したときには、保護者に迅速に連絡を取って謝罪と、様子についてお伝えしています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	45				無回答 4 ・のぞみの通所が大好きです。 ・安心しています。	・今後も子どもたちが安心して通えるよう努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	45				無回答 4 ・いつも大変お世話になっている。本当にありがたいです。 ・とても安心感を感じ、学校で言えないことのぞみの先生になら言えるようです。 ・楽しんでいます。	・今後も子どもたちが楽しみに思えるような活動を行っていききたいと思います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	44	1			無回答 4 ・親も子ども心の支えであり味方でいてくれる。本当に感謝している。 ・喜んでいます。	・今後も子どもたち、保護者にとってより良い支援ができるよう努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こども発達支援センターのぞみ 放課後等デイサービス		2025年 2月 12日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		スペースには制限はありますが、活動や子どものニーズによって部屋を使い分けています。	安全に運営できるように、環境設定を行っていきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		利用定員に対する配置は満たしております。また、個別の対応が必要な子ども、小集団のニーズのある子どもなど、状況に応じて職員を配置するようにしています。	子どもの特性やニーズに対して柔軟な配置と対応に努めていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		バリアフリーは、手すりスロープ設置。建物の構造上難しい面がありますが、障害の特性によって環境調整や、場所の確保等工夫しています。	完全なバリアフリー化は時間がかかりますが、できる限り対応していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		子どもたちにとってわかりやすく、少しでも心地よく過ごせるような空間づくりを心がけています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		子どもの特性やニーズに合わせて、落ち着ける場所を設けています。	今後も、子どもの特性やニーズ、その時の状況などに応じて、柔軟に対応していきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		目標設定や振り返りを、職員全員で情報共有を行っています。	今後も、会議の中で共有事項を伝え合うことや、日々の活動や子どもの様子についての振り返りを行っていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		年に一度のアンケートをとおして、保護者の意見を把握しております。	ご意見があったことにつきまして、改善できそうなことは迅速に対応したいと思います。また改善が難しい事案についてもできるだけ対応していく努力をいたします。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		職員会議等で、業務改善について話し合う機会を設けています。	業務改善について話し合っておりますが、業務内容や作業の効率化についても見直していきたいと考えています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		第三者による外部評価は行っておりません。今後、法人全体で考えていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		内部研修や外部研修、その他自主的に外部研修を各職員が受けています。	よりよい支援ができるよう、職員の資質の向上に努めていきます。
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		当法人ホームページに掲載しております。	支援プログラムを法人ホームページにて公表しております。よりよい支援につながるようなプログラムを今後も考えていきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		困り感・ニーズの聞き取り、検査等も行い、子どもの実態を評価し、計画作成をしています。	子ども本人や、保護者からの聞き取りを丁寧に行い、ニーズに合った計画を作成するように努力します。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		児童発達支援管理責任者を中心に、子どもに関わる職員がモニタリング会議に参加し、支援計画の見直しをしています。	会議の中で子どもに関わる職員一人ひとりが、子どもにとってよりよい支援サービスを提供できるよう、情報交換や意見交換をしっかり行っていききたいと思います。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		一人ひとりの子どもたちの支援に、どの職員が関わっても同じ支援ができるように、計画の目標についてみんなで話し合っています。	子どもたちの支援に、個々の必要な支援を職員一人ひとりが理解して関わっていくように努力していきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	3	学校や家庭、活動中の困り感の状況把握として、必要に応じてWISCやSTRAW,URAWSSなどのアセスメントを実施していますが、すべてのケースで行っているわけではありません。	あまり多くは行えていませんが、必要に応じてフォーマルなアセスメントを取り入れ、支援に生かしていきたいと考えています。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		ガイドラインに基づいて各支援の項目を個別支援計画に位置付けて、具体的に支援内容をあげています。	できるだけ具体的に支援内容を上げるようにしていますが、「移行支援」につきましてはまだ事例がありません。

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		担当職員を中心にチームで行っています。	個別の活動や、小グループの活動など、子どものニーズに合わせて丁寧に活動を考えていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		グループ活動の内容は、グループや個人の興味関心、個々のニーズに応じて計画しています。	子どもの特性に合わせて、より安心で、より楽しめて、より分かりやすい活動プランを考えていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		一人ひとりの能力や特性、ニーズを満たせるよう検討して支援計画を作成し、支援できるようにしています。	個別の対応が必要な子どもにも、集団活動を提案することもあります。職員間で連携しながら子どもの反応にも留意し、スモールステップで取り組んでいます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		その日の活動などは事前に職員間で打ち合わせを行い、楽しめる活動を考えています。また職員の配置などにも配慮しています。	今後も、チームで協力し子どもたちのニーズに応じた支援を行えるよう努めます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		活動における支援内容の振り返りを、職員間で行い共有するようにしています。	活動の中で子どもの反応や気づきなどを支援終了後に共有するようにしていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		日々の記録は必ず取っており、振り返りも行うようにしています。	記録を通して、より良い支援となるよう検証し、改善につなげていきたいと思っています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		モニタリング会議を行い、計画の見直しを定期的に行っています。	モニタリングを通して、子どもの変化に気づき、必要な支援を見出していきたいと思っています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3	2	基本活動に基づきながら支援をおこなっていますが、活動として地域交流は、実施できておりません。	今後、そのような支援が行えるよう、実施できていない活動については検討していきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		自分なりの過ごし方を決めます。スケジュールを自分で組めます。また、選択カードなどを用いて意思表示できるようにしています。	子どもの特性によって、意思の表出手段は様々であることを踏まえて、支援の方法を考えていき、自分で決める力をつけていければと考えています。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		各種会議に参加する場合は、よく理解している職員が参加するようにしています。	各種会議に、その子どもをよく理解した職員が参加できるようにしていきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		必要に応じて医療や学校など、関係機関と連携をはかるようにしています。	連携の体制を整えていますが、子どもや保護者にとって関係機関との連携のニーズが高いことを感じています。対応できる職員配置を検討していきたいと思っています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		事前に送迎の場所や時刻など必要事項を保護者が学校と連絡調整をしていただき、こちらが対応しております。	今後も適切に対応していきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	5	1年生の途中、または2年生以降で利用に繋がる子どもさんが多く、学校や家庭の様子からアセスメントを行っています。	必要に応じて連携を図っていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	5	放課後等デイサービスからの移行連携はまだありません。	必要に応じて行っていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5		他事業所と連携をはかり、互いのケースについて相談をした例はあります。	事業所間で連携を取りやすい関係づくりをしていき、お互いに助言し合えるようにしていきたいと思っています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	5	まだ交流の機会はありません。	必要に応じて検討します。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5		定例会などに参加しています。	自立支援協議会に積極的に参加できるようにしていきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		気になることや、悩んでいることなど気軽に話していただき面談をしています。また、相談内容等は関わる職員間で個人情報に配慮しながら共有しています。	子どもの様子や気づきなど、保護者にわかりやすくお伝えするように努力していきます。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		ペアトレや家族の会などの情報提供をメールにて行っています。	今後も情報提供を行っていきます。	

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		利用契約時に、運営規定や利用者の負担について、などの諸説明を時間をかけて丁寧にしています。また、支援プログラムに関しては当法人ホームページに載せています。	保護者によりわかりやすく説明できるよう努めます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		面談を行っており、保護者や本人の思いをしっかりと聞き取るようにし、支援に生かしています。	今後子ども本人の思いや、保護者の思いを大切にしたい支援計画となるようにしていきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		個別支援計画の支援内容の説明を行い、保護者に同意のサインをいただくようにしています。	本人、保護者からの同意が得られるよう、丁寧に計画を作成していきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		要望に応じて面談を行っています。	より相談しやすい環境を整えていきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	5	まだ検討の段階であり実施に至っていません。	今後必要に応じて検討していきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		苦情を受けた事例はありませんが、契約時に保護者に丁寧に説明し、体制は整えています。	迅速に対応できるようにいたします。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		特別な活動等をする際や、周知すべき情報などは、メールを使って速やかに共有するようにしています。現在は、定期的な通信等は発行しておりません。	今後、必要であればその他の方法を活用していくよう検討いたします。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個人情報の取り扱いには十分留意しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		各ご家庭の状況により、情報伝達の方法をメールや電話などで対応しております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	5	現在は行っていません。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		ガイドラインに基づいて各種マニュアルを作成しています。また、各訓練を順次実施したときには保護者にお伝えするようにしています。	様々な想定をして訓練を実施していけるよう努力します。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		BCPを策定しています。	BCPに基づき、必要な訓練を今後職員チーム体制で取り組んでいきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		契約時には、病院の受診歴やアレルギー、既往歴を確認するようにしています。	丁寧に確認、聞き取りを行います。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		指示書に基づいて対応するよう保護者と確認を取り、必要に応じて消防にも登録を行っています。	対応の訓練を実施いたします。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		安全計画を立て、送迎の安全管理、施設内外の点検、プール前の危機管理研修や災害時の訓練などを行っています。	順次必要な研修や訓練があれば取り組んでまいります。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		避難訓練実施についてのや災害時の保護者の対応について書面やメールでお知らせしています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハットの事案が出た時には、速やかに再発防止のための方策を検討しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		毎月虐待防止チェックリストを職員がつけて振り返るようにしており、定期的に虐待防止委員会を開き、研修も行っていきます。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	5	身体拘束適正化委員会は設けております。現在、該当者はいません。	必要があれば、説明等は丁寧にさせていただきます。	